



平成 17 年 3 月 7 日

各 位

会 社 名 ゼネラルパッカー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 原 淳
(J A S D A Q ・ コード 6 2 6 7)
問 い 合 わ せ 先 専務取締役 池 澤 晃
管 理 部 長
電 話 番 号 0568(23)3111(代表)

平成 17 年 7 月期 (非連結) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 7 月期 (平成 16 年 8 月 1 日 ~ 平成 17 年 7 月 31 日) の業績予想について、平成 16 年 11 月 29 日付当社「平成 17 年 7 月期第 1 四半期業績の概況 (非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 17 年 7 月期業績予想の修正 (平成 16 年 8 月 1 日 ~ 平成 17 年 7 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 11 月 29 日発表)	4,300	430	254
今 回 修 正 予 想 (B)	3,800	250	147
増 減 額 (B - A)	500	180	107
増 減 率 (%)	11.6	41.9	42.1
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 16 年 7 月期)	3,983	412	249

2. 修正理由

包装機械業界におきましては、大企業を中心として設備投資需要が増加し、全体として景況感は回復基調を示す一方、中小企業の設備投資意欲は依然として低調のまま推移しております。このような環境のなかで、当社は医療分野・健康食品関連業界等への積極的な受注活動を推進するとともに、大企業を中心とした大型設備投資のシステム受注の強化に努めてまいりました。この結果、受注高は前期を大幅に上回る状況で推移しております。

しかしながら、通期業績につきましては、期初計画時点で当期に受注を確保し売上計上が可能と見込んでいた約 500 百万円の大型システム見込み案件が、受注は確保できたものの売上計上が

来期にずれ込むことが確定したことから、大幅な計画ずれが発生しました。また、期初計画外の当期に売上が可能な新規受注見込み案件による計画ずれの一部挽回も期待されますが、ユーザーの設備投資時期が先送りされる傾向と意思決定が遅れ気味で推移している状況下では、売上計上の来期への繰越の可能性も残ることから、通期業績の計画ずれの回復は困難な見通しとなりました。

売上高に関しましては、中間期で計画を下回るとともに、上記要因等により、当期の売上計上分の受注が計画通りに進展せず、前回発表予想に比べ 11.6%減少する見通しとなりました。このため、通期の売上高予想を 3,800 百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、値引要請が強く、引き続きコストダウンと販売費及び一般管理費の抑制等に努めるものの、中間期で売上総利益率が当初計画値を下回るとともに、売上高減少に伴う固定費負担も高まることから、前回発表予想に比べ経常利益で 41.9%、当期純利益で 42.1%と大幅に減少する見通しとなりました。このため、通期の経常利益予想を 250 百万円、当期純利益予想を 147 百万円に修正いたします。

なお、平成 17 年 7 月期の期末配当につきましては、平成 16 年 9 月 7 日付当社「平成 16 年 7 月期決算短信（非連結）」にて発表しましたとおり、期末配当金を 1 株当たり 6 円にて行う予定であります。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上